

授業科目名	現代社会と法		授業科目区分				職名	担当教員
	「法と文学」-その隙間を埋めるもの/繋ぐもの-		対象学期	対象学年	単位数	授業方法		
			大学コンソーシアム富山 単位互換開講科目(教養)					
英文名			夏期集中	2年	2単位	講義	教授	野口 教子 オムニバス形式
授業概要	法律は時代に即し制定され、改正されてきました。いつの時代にもその時代にあわせた文学作品が存在します。両者には「時代を映す」という共通点があります。本講義は、文学の概念を広くとらえ、万葉集から近現代の小説、随筆、評伝さらには落語など、時の古今、地の東西にわたる様々なジャンルの作品を取り上げ、名作といわれる所以に見え隠れする時代の背景を法の観点を中心に読み解いていきます。講師には、すべからく法律に携わる関係者や文学研究者に限らず、医学関係者、ジャーナリストなど多岐にわたる分野からも迎え、まさに法と文学の隙間を埋め、そして繋いでいきます。							
到達目標	さまざまなジャンルの文学作品の中にあるそれぞれの時代背景と、その社会背景にある法律の観点を聞き取る。							
実務経験の有無	○	実務経験のある教員等による授業科目の学修成果						
コンピテンシー(行動特性) 「伸ばすことのできる能力」	協調性		傾聴力		創造力		論理的思考力	
			◎		○		◎	
講義方法	オムニバス方式による講義とし、講義最後に質問時間を設ける。							
授業計画	回数	内容						
	第1回	万葉集の中の律令 (高岡市万葉歴史館館長 坂本信幸 氏)						
	第2回	仏蘭西の法と文学『権力と闘う良心』～フランス・ユマニズムの系譜～ (富山県立大学参与 仲井章 氏)						
	第3回	落語の中の法律 (慶応大学法科大学院教授 菅原貴与志 氏)						
	第4回	森鷗外の中の法律-高瀬舟より- (千葉大学名誉教授 植木哲 氏)						
	第5回	リア王とおりんの現代と法 (認知症研究所長 中島健二 氏)						
	第6回	働き方改革と文学 (北陸大学教授 松本和彦 氏)						
	第7回	源氏物語に見る法律 (高岡法科大学講師 白石佳和 氏)						
	第8回	法の番人と文学 (元検事・弁護士 山川一陽氏)						
	第9回	法の格言と文学 (日本大学教授・弁護士 松嶋隆弘 氏)						
	第10回	法医学と文学-死人に口あり- (神楽坂法医学研究所 押田茂實 氏)						
	第11回	白い巨塔と法律 (弁護士 石川寛俊 氏)						
	第12回	近代小説と法-芥川龍之介「藪の中」- (元日本大学教授 佐藤健一 氏)						
	第13回	犯罪小説と法-佐木隆三「復讐するは我にあり」- (元日本大学教授 佐藤健一 氏)						
	第14回	時代小説と法-鬼平犯科帳の世界- (作家・評論家 末國善巳 氏)						
	第15回	評伝と法-景気を仕掛けた男「丸井」創業者 青井忠治- (経済ジャーナリスト・作家 出町譲 氏)						
評価方法	講義への参加度 (出席率ではない)、レポートにより総合的に評価する。							
使用資料	テキスト	各講義時に資料・レジュメを配付する						
	参考図書							
受講上の注意	外部からの講師・受講生も多数参加するので、大学生としての誇りを持って参加すること。特に受講態度には注意すること。目に余る受講態度の場合は、以降の受講を認めないこともある。講義終了後、レポート作成を課すので、なるべく講義中のメモ等をとること。							
事前・事後 学習 (学習課題)	事前							
	事後							
オフィスアワー	授業終了後							
備考	第15回講義終了後、レポート作成を課す。							